

伊豆の国市教育大綱（案）

1 教育の基本理念

『地域ぐるみで子どもを育む教育風土の醸成』

グローカルな視点を持ち、

自己実現に粘り強く挑戦していく力を育む教育の実現

2 基本方針

(1) 「夢と志を持ち、可能性に挑戦する人」の育成

—誰もが可能性に挑戦できる教育環境の整備を推進します—

(2) 「多様性を理解し、人との関わりを大切にする人」の育成

—多様性が尊重され、生きがいと思いやりに満ちた集団の育成を推進します—

(3) 「ふるさとに誇りを持ち、伊豆の国市を愛する人」の育成

—伊豆の国市の歴史文化や環境の素晴らしさの理解を
深める体験学習を推進します—

3 重点施策

(1) 「夢と志を持ち、自分の可能性に挑戦する人」の育成

重点施策1 主体的・対話的な深い学びの充実

- ・子どもが主語となる授業を展開し、誰もが自分に合った「学び方」を選ぶことができ、ウェルビーイングが感じられる教育を実現します。
- ・幼児期から英語や異文化に慣れ親しむ環境の充実を図り、国際理解教育の推進と英語コミュニケーション能力を育みます。
- ・ＩＣＴ機器を効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。
- ・夢や志に挑戦し続ける基盤となる心や身体の健全な成長を促す教育を実践します。

重点施策2 生涯にわたる学びの充実

- ・生徒や保護者の希望を尊重し、中学校部活動の地域展開を推進します。
- ・各種団体との連携を図り、生涯にわたるスポーツや文化・芸術活動に親しむ機会を充実します。

(2) 「多様性を理解し、人との関わりを大切にする人」の育成

重点施策3 「多様性社会」を力強く生き抜くための資質や能力の育成

- ・適正な規模の集団を形成し、ゆるやかな協働性のもと、一人ひとりが自分らしさを發揮できるよう支援します。
- ・校種間の連携の深化を図り、架け橋プログラムを軸に、目指す子ども像を共有し、保育・幼稚・小中の一貫教育を推進します。
- ・居場所の確保はもちろんのこと、一人ひとりの教育的ニーズに寄り添い、誰一人取り残すことのない教育の実現を目指します。
- ・不登校やいじめ、虐待の未然防止と問題の早期発見に努め、関係機関と連携し早期対応を図ります。
- ・命を大切にする教育を推進するとともに、自分の命は自分で守る「自助」、互いに助け合う「互助」の態度を育みます。

重点施策4 社会性の醸成と定着を目指した実践の充実

- ・地域や学校外の人との関わる機会を計画し、人とのつながりを大切にする中で、公共の精神を尊重する心を育みます。
- ・社会の一員としてより良い社会づくりのため、行動する意識や能力を育みます。

(3) 「ふるさとに誇りを持ち、伊豆の国市を愛する人」の育成

重点施策5 地域と共にある園・学校づくり

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働本部が連携しながら、園・学校・家庭・地域が総がかりで子どもの健やかな育ちを支える教育風土を醸成します。
- ・地域資源を活用し、地域の魅力をより深く理解できるような取り組みを推進します。

重点施策6 地域活動への参画

- ・地域の一員であることの自覚を促し、地域の活動に参加することを通して、地域への愛着と地域に貢献していくこうとする態度を育みます。

重点施策7 地域の歴史文化の保護と伝承

- ・「保護」「伝承」されてきた地域文化への理解を深め、先人の業績に感謝と敬意の念を抱き、未来へ継承していくこうという態度を育みます。
- ・「伊豆の国歴史館いづしる」を活用し、史跡めぐりや体験学習を実践し、伊豆の国市の歴史文化を理解することを通して、ふるさとに誇りを持ち、伊豆の国市を愛する心を育みます。

重点施策8 安全で安心して学べる教育環境の確保

- ・緊急度に応じた的確な修繕と安全対策の実施により、教育施設の健全性を保ち、子どもたちが安心して学べる教育環境を整えます。
- ・急速に進む少子化を念頭に、子どもたち一人ひとりの資質や能力を伸ばしていく教育環境づくりを目指し、学校の適正規模や適正配置を検討し、学校の再編に取り組み、魅力ある学校づくりを進めます。

※3つの基本理念すべてに通じる重点施策として設定